

令和 5年 1月 30日

浜田市議会議長

池田 卓 様

議員名

牛尾 昭

## 調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため研修等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 令和 5年 1月 27日 (金) : ~ :

2. 研修内容

地域政策ネットワーキングフォーラム。

3. 研修先

大正大学 地域福祉研究所

4. 調査経費

10,385 円

(経費内訳 10,000 円、 385 円)

5. 調査研究活動の概要

引 附 記。



研修会先

大正大学：地域構想研究所

目的：地域政策ネットワークフォーラム

～地域の課題と自治体議会の役割～

期間、令和5年1月27日、10：20～16：40

オンライン研修会。

開会挨拶：副学長、首藤正治氏

要旨：江藤俊昭教授は、議会改革の分野のトップである。来年度は、片山所長とともに、地域課題と議会改革について取り組む。今年度は、プレ企画である。

セッション1：江藤俊昭教授。

議会が地域を変える。～新しい地域経営は、広域連携と議員間ネットワークである。詳しくは、第33回地方制度調査会の答申を読んで欲しい。コロナ禍で炙り出された「東京一極集中」の問題—地方の価値の発見（足元を掘れ、そこに泉湧く）、開放型内発的発展（SDGsを意識する）

議会改革は、コロナ禍であぶり出された2極化①右往左往する議会・議員②政策サイクルを回す議会・議員。二つの成果

を生んだ。～議会 BCP 策定とオンライン会議の実践。

縮小社会への対応：地域の再政治化における議会の役割。＜住民自治根幹＞としての議会—地域経営にとって重要な権限は議会。

①多様性、論点の明確化、合意可能性、世論形成といった役割。（合議制）

②女性、若者、障がい者、外国籍の人。

議会改革

1 ステージ：住民と歩む議会の新たな社会。

2 ステージ：住民の福祉向上につなげる。

\*議会からの政策サイクル—監視から政策提言。

\*多様な発見と実践—市民フリースピーチ。

\*議会改革—住民自治の改革。

地域経営における P D D D C A サイクルで軽視されていた

D ( d e b a t e ) 成果を住民に示す必要。

セッション 2：片山善博所長。

新たな地域経営を考える。

市長がやらない場合には——議員立法などで増額修正する。

①地域は、人口減少にどう対応すべきか。

②生産性を念頭においた地域経営。

③DXと地域。

④GXと地域。

セッション3：パネルディスカッション

取手市議長、取手市議会事務局次長、片山善博、首藤正治、  
司会・進行：江藤俊昭教授。

考察、江藤俊昭教授からは、フォーラムとしての議会、議員の属性の多様化、監査委員会と議会の連携、委員会代表質問の重要性を説かれた。今まさに、我々が検討している事案で参考になった。広域行政組合の改革については、私に説明を求められたが、午後は、透析のために、出来ないとお断りした。片山善博氏の指摘は、人口減少問題については、人の奪い合いは止めませんかーパイは増えません。むしろ、地域で活躍する人の発掘をし、行動する人をサポートする事が大事である。このことは、私が言っている、お金で人を買う事業は間違いという見解と合致する。以上、報告致します。  
牛尾昭。